

# ひょうごらくのうメモ

1

2023 JAN



表紙：姫路護国神社へ初詣 『良い年でありますように！』

フルカラー版は組合ホームページから  
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058

西神文化センター3階

## 年頭のご挨拶

令和5年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

組合員並びに関係者の皆様におかれましては、日頃より当組合の事業につきまして格別のご理解とご支援を賜っております事厚くお礼申し上げます。

3か年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の影響により、生活様式もウイズコロナに転換し、コロナ前と同じとは行きませんが少しずつ日常を取り戻していると思われまます。一方酪農では、昨年異常ともいえる飼料価格の高騰にみまわれる事態となりました。特に2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻は長期化の様相を呈しており、両国が世界有数の穀物輸出国であることから輸入穀物の流通量が不足する事態となり、配合価格もその煽りをうける形となりました。また輸入粗飼料においては、中国の旺盛な買い付けと生産国の国内需要により価格は暴騰し、加えて日本対欧米諸国との金融政策違いから為替が大きく変動、円安が極端に進行したため、非常に厳しい酪農経営を迫られた1年でありました。

こういった状況の中、国や県、各行政から酪農経営者に対し緊急支援の対策が講じられておりますが、経営の改善に至るところまででないと思察します。組合としましても微力ではありますが、特別経営支援金を支出させて頂きました。

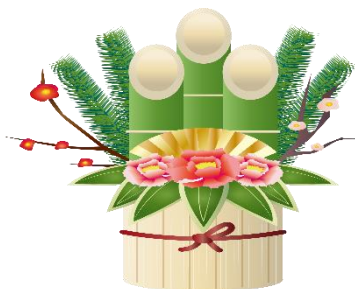
また、経営環境の急激な悪化から期中の乳価値上げ要求・再交渉の動きが本格し、各乳業メーカーの理解から11月からキロ10円値上げとなりました。しかしながら現状では再生産の出来る金額ではなく、今後さらなる乳価値上げ若しくは設定変更の対応を講じる必要があると考えます。

令和5年の干支卯（うさぎ）は、跳躍力に長けていることから飛躍や向上の象徴と称されています。

インバウンド需要が回復し消費が進み、需給バランスが好転することを願うばかりです。

また、近畿生乳販売農業協同組合連合会の単一農協化も令和7年度に延期されましたが、組合も管理費削減をすすめ、スリム化に取り組み、組合員の負担増を食い止めるため、組合員の理解の下、役職員一丸となって酪農経営向上の為尽力してまいりますので、本年も引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、この1年が皆様にとりまして健康で輝かしい飛躍の年になります様祈念申し上げます年頭のあいさつと致します。



令和5年1月吉日

兵庫県酪農農業協同組合  
代表理事組合長 吉川 稔英

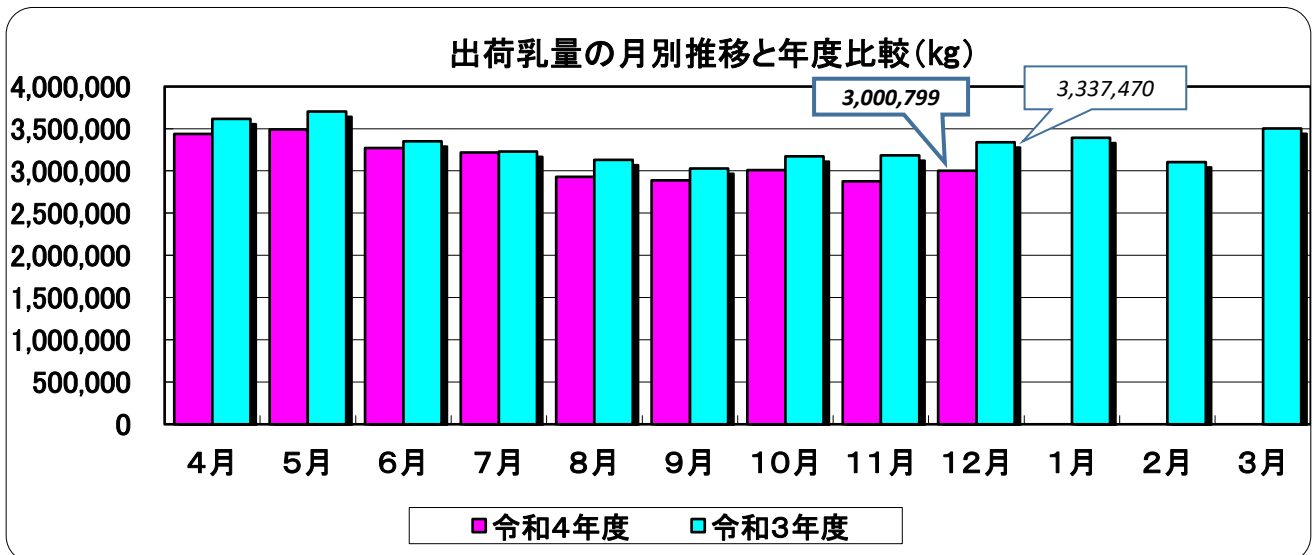
# 生乳生産統計

## 1. 全国(令和4年11月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	4年	4月	657.0	102.0
令和	4年	5月	678.5	101.2
令和	4年	6月	642.9	100.4
令和	4年	7月	645.5	101.0
令和	4年	8月	626.9	99.8
令和	4年	9月	606.2	98.8
令和	4年	10月	621.9	98.6
令和	4年	11月	596.9	97.2
令和	4年	12月		
令和	5年	1月		
令和	5年	2月		
令和	5年	3月		
令和	4年度	累計	5,075.7	99.9

## 2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地区	令和 4年 12月		年度累計		出荷農家 戸数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	577,243	93.1	5,269,983	96.0	20
播州地区	487,535	87.2	4,760,686	91.4	18
丹但地区	302,334	93.2	2,831,591	98.4	14
淡路地区	1,633,687	89.1	15,262,327	94.3	86
合計	3,000,799	89.9	28,124,587	94.5	138



## 活動報告

## 『もう～もう～スクール』理解醸成

昨年度と一昨年度はコロナ禍の行動制限がある為、組合を拠点として牧場と小学校をオンラインで結ぶ【Web版もう～もう～スクール】の活動を行っております。

今年度は制限も一部緩和されたこともあり、感染防止などに細心の注意を払いつつ兵庫県立農業高等学校のご協力を頂き実際に小学校の校庭に仔牛を連れて行っての【牛あり版もう～もう～スクール】開催となりました。

まず、酪農のお話として県立農業高校の生徒さんが日頃学校で習った事や感じていることを生徒さんの言葉で分かりやすくクイズを交えながら説明してくれて、児童の皆さんも親しみを持って説明に聞き入っていました。質問コーナーでも、積極的に手が上がっており酪農・牛に関心を持ってきていたもので、嬉しく思っております。

続いて、牛乳のお話として管理栄養士である日本乳業協会 関西相談室の入口由実先生より牛乳の栄養等について分かりやすく説明して頂き、バター作り体験も行いました。児童さん一人一人が真剣にバター作りに取り組んでおり、『やったー！出来た！』との声も聞こえておりました。

その後、校庭にて仔牛の心音体験と模擬搾乳機での乳搾り体験を行いました。仔牛の心音体験では、仔牛と間近で接するので児童の皆さんワクワク・ドキドキの様子。上手に心音を聞けるか心配でしたが、説明をしっかりと聞いて取り組んでいました。乳搾り体験では、模擬搾乳機の大きさにビックリしていましたが笑顔で体験できておりました。

大変厳しい状況下にある酪農業界ですが、将来に向けて兵庫の酪農への理解醸成、また兵庫の牛乳・乳製品への関心を高めて理解を深める活動が必要不可欠です。最後となりましたが、兵庫県畜産課酪農養鶏班、近畿生乳販売農業協同組合連合会など各関係機関にご協力頂きましたことを厚く御礼申し上げます。



## 地区別懇談会報告

令和4年12月19日・20日・21日、県内4地区（阪神・播州合同）において、上期決算状況報告を兼ねて地区別懇談会を開催しました。

例年、出席者数が少なくなっていますが開催当日のご参加の方には酪農作業を割いて出席いただきありがとうございました。

内容としては、直近11月次生乳生産進捗状況の報告、後に①令和4年度上期決算状況について②組合運営、各種事業について③その他について説明並びに依頼等をさせて頂きました。

なかでも組合としましてスリム化（職員数減）を進める上で組合員の理解を得る必要があります。近く乳代精算書等を電子ファイル化してメール送信を行う事に同意いただけるか。また、事業申請に期日が設けられていることから、補助事業参加申込ほか調査書類等の提出期日は必ず守って頂くこと。組合からの通知・送付書類を確実に見て頂けること。その他として、次年度（令和5年度）任期満了に伴う役員改選、役員選出にかかる各地区推薦委員の決定など、2月若しくは3月頃から始まることに対してのご協力をお願いしました。

### ◆ 主な行事予定 ◆

- |  |                               |  |
|--|-------------------------------|--|
| <p>14日 兵庫県共済組合・家畜共済損害評価会（共済会館）</p> <p>9日 令和4年度全酪連監事・役員研修会（大阪）<br/>兵庫県有和牛精液利用検討委員会（県民会館）</p> <p>3日 西日本酪農青年女性会議三役・事務局会議（岡山市）</p> <p>2日 全国酪農協会・事業推進委員会（WEB）<br/>近畿生乳販連販売委員会・理事会（WEB）</p> <p>1日 職員会議</p> | <p>2月</p> <p>31日 理事会（WEB）</p> | <p>1月</p> <p>15日 第60回淡路農林水産祭（淡路市伊弉諾神宮内）</p> <p>17日 令和4年度後期牛群審査・体型調査（20日）</p> <p>23日 岩崎税理士巡回税務監査</p> <p>24日 内部管理職会議</p> <p>26日 令和4年度冬期登録事務担当者会議（WEB）<br/>令和4年度兵庫県畜産収益力強化支援<br/>クラスター協議会通常総会（玉津管理センター）</p> |
|--|-------------------------------|--|

## 技術情報

### 『考え方』が変われば、 きっと『未来』が変わる！

全国酪農業協同組合連合会  
近畿事務所 下田 宏二

兵庫県酪農協の組合員の皆様、新年明けましておめでとうございます。平素より全酪連購買・畜産事業に特段のご理解・ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。本年も引き続き宜しくお願い致します。

令和4年は、長引く新型コロナウイルスの影響により経済活動並びに生活パターンの変化に伴い、消費行動にも大きな変化が生じた年となりました。ワクチン接種の普及及び衛生管理の徹底・ルール化により、コロナに対する過度な抵抗感は薄れてきたものの、やはり感染拡大の情報が入ってくると、行動抑制モードにならざるを得ない国民気質である事は歪めないと思われまます。いずれにしても、接触者同士で程よく気を配りつつも、人的交流にこれ以上の制約がかからないように上手く付き合っ、経済活動に歯止めがかからないことを望みます。

以前、私が購読した書籍(著者:稲盛和夫[京セラ・KDDI 設立, 日本航空再建])に『どのような「考え方」を選択するかによって、自分の人生を素晴らしいものに作り上げることもできれば、壊すことにもなると考えている』と綴られていました。人は誰でも人生の中で、思いもよらぬ障害に遭遇します。そんな困難に直面した時、どちらに向いて進むのかは、全て自分の「考え方」からくる判断であるという内容です。

稲盛氏が考える人生の方程式とは・・・

人生・仕事の結果＝「能力」×「熱意」×「考え方」

「能力」というのは、頭が良いというだけでなく、運動神経が発達しているとか、頑健であるといった身体的な能力を含めたものであり、多くは生れつき備わっているもの。「熱意」とは努力と言い換えても良く、人生・仕事に対して情熱を抱き、一生懸命努力することであり、これは自分の意思で決める事ができます。最後の「考え方」が最も重要な要素であり、この方程式の結果を大きく左右することになるようです。なぜならば、「能力」や「熱意」の振れ幅に比べ「考え方」には、悪い考え方(－)から良い考え方(＋)まで大きな振れ幅があるからとあります。どんなに才能があろうとも、どんなに熱心に仕事をしようとも「考え方」が間違っていたのでは、マイナスをかける(×)ことになるため、人生の結果は決して良いものにならないという事ようです。

・上手くいかない理由を転嫁して、言い訳と不平不満ばかり言う。

・人を妬み世の中を嫉み、まともな生き方を否定する。

このような「考え方」を持つなら、結果はマイナスになり、「能力」「熱意」が強ければ強いほど大きな負の結果となってしまいます。一方、大変な苦難に遭遇したとしても、それを真正面から受け止め、いつか自分にも明るい未来が来ると信じ、前向きに明るい心で生きていこうというプラスの「考え方」をすれば、多少能力が劣っていようとも、素晴らしい結果を得ることができるとあります。ちなみに、プラスの「考え方」とマイナスの「考え方」の違いを以下のように記述されていました。

■プラスの「考え方」

- ・常に前向きで、肯定的、建設的である
- ・皆と一緒に仕事をしようとする協調性を持っている
- ・真面目で正直で謙虚で努力家である
- ・利己的ではなく「足る」を知り、感謝の気持ちを持っている
- ・善意に満ち、思いやりがあって優しい

■マイナスの「考え方」

- ・後ろ向きで、否定的、非協力的である
- ・暗く、悪意に満ちて、意地が悪く、他人を陥れようとする
- ・不真面目で、嘘つきで、傲慢で、怠け者
- ・利己的で強欲、不平不満ばかり
- ・自分の非を棚に上げて、人を恨み、人を妬む

このようなマイナスワードを並べると、私自身も胸をえぐられる気持ちになります。誰しもが、多かれ少なかれマイナス思考を持ち合わせている一方、プラスの「考え方」も多く抱いていると思います。先行きが見えない状況を打破するためにも「考え方」を良い方向へ少しでも転換し、未来に変化が起こる事を強く願うところです。

配合飼料や輸入粗飼料の価格が過去に例のない水準で高騰しており、酪農家は経営危機に見舞われています。昨年11月から飲用乳等向けの乳価が改定され、10円/kg上昇したものの、ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安などにより、飼料費だけでなく燃油・電気料金等も含めた酪農資材全体のコスト上昇が加速しました。一方で、子牛の市場価格が大幅に下落することで、酪

農経営を逼迫する要素が重なり、かつてないほどの厳しい環境に置かれています。先行きが見えづらい状況が続くと、全てに対し悲観的な考えからなかなか抜け出せず、建設的な考え・行動が生まれず、益々生産基盤縮小に向けて加速してしまう事が危惧されます。

全酪連といたしましても、飼料の安定供給に引き続き尽力するとともに、今後の飼料情勢を的確に皆様のもとへお届けし、コスト低減のご提案に全力で支援させていただきます。併せて、マイナスの「考え方」からプラスの「考え方」へ少しでも転換できるよう、良い情報を配信することに注力していきたいと思っております。

本年も全酪連事業にご理解・ご協力の程、宜しく願い申し上げます。



参考情報

淡路家畜市場情報

令和4年12月第2金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	14	113,850	191,400	1,100			53
前回	15	102,887		160,600	8,800			55	10,963	10.7%	
前年	11	158,100		222,200	48,400			52	-44,250	-28.0%	
オス	今回	15	121,660	211,200	1,100			53			
	前回	12	80,850	171,600	1,100			52	40,810	50.5%	
	前年	16	133,650	237,600	34,100			55	-11,990	-9.0%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	5	15,400	18,700	13,200			51			
	前回	4	8,250	11,000	3,300			55	7,150	86.7%	
	前年	7	51,857	61,600	29,700			56	-36,457	-70.3%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

\* 前は令和5年11月第4金曜日・前年は令和3年12月9日

令和4年12月第4金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	13	80,892	162,800	2,200			52
前回	14	113,850		191,400	1,100			53	-32,958	-28.9%	
前年	19	107,568		223,300	27,500			55	-26,676	-24.8%	
オス	今回	20	122,320	225,500	23,100			54			
	前回	15	121,660	211,200	1,100			53	660	0.5%	
	前年	21	168,667	292,600	23,100			54	-46,347	-27.5%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	3	9,900	17,600	4,400			48			
	前回	5	15,400	18,700	13,200			51	-5,500	-35.7%	
	前年	8	56,650	68,200	26,400			53	-46,750	-82.5%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

\* 前は令和4年12月第2金曜日・前年は令和3年12月25日



# 隣県家畜市場情報

## 乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	99,316	920	92,268	1,310	88,244	279	108,936	95,423	
3年次	83,134	947	92,646	1,184	74,198	254	108,163	98,856	
4年次									
4	1	60,274	73	86,602	118	96,842	26	84852.392	7917
	2	78,917	74	84,541	76	82,622	27	99586.549	7368
	3	89,551	78	93,886	134	84,111	28	104429.79	8775
	4	96,634	73	98,901	78	93,317	18	101787.76	7440
	5	112,322	54	111,763	78	99,245	18	123317.29	6324
	6	122,177	71	111,003	68	119,460	10	117640.26	7227
	7	95,057	53	104,775	56	85,663	8	74406.133	7599
	8	45,824	76	66,689	75	30,158	12	31,436	7,762
	9	25,075	83	22,432	102	17,417	12	15,575	6,428
	10	16,210	91	21,039	87	9,477	26	20,611	6,131
	11	18,362	78	20,287	97	8,250	22	26,558	6,750
	12								
5	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

## 交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	228,479	6,027	217,319	4,382	264,159	2,114	190,693	172,233	
3年次	210,211	6,047	193,481	4,181	230,848	1,993	181,918	178,394	
4年次									
4	1	156,690	554	134,664	365	200,007	194	150927.73	14421
	2	154,568	511	135,321	311	173,563	172	163424.21	13270
	3	173,935	563	159,393	369	183,812	206	175587.62	15423
	4	181,317	559	179,829	287	212,539	189	178696.53	13776
	5	209,912	449	203,328	263	235,953	151	190858.36	12825
	6	238,145	353	221,190	368	220,208	143	187300.12	12975
	7	204,151	331	188,185	287	226,511	112	157593.29	13177
	8	156,707	560	151,410	271	196,618	121	100,500	15,237
	9	124,209	554	110,885	393	148,069	153	88,395	15,808
	10	129,255	531	106,490	278	161,723	143	91,131	15,097
	11	114,617	706	98,855	296	169,113	153	93,840	16,644
	12								
5	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

## 令和4年12月乳牛市場成績

頭：千円・税込

市場名	開催日	育成牛(林・林系・他)				初妊牛(林・林系・他)				経産牛(林・林系・他)			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
十勝	12/1	546	326	7	184	3	319	194	246				
北海道	12/3	46	250	35	158	83	714	182	481	15	315	88	196
豊富	12/8					341	728	59	486	8	254	110	197
北見	12/9	475	341	6	180	5	421	322	378				
根室	12/12					627	889	228	478				
釧路	12/13					277	886	250	446	2	411	231	321
北見	12/14					338	891	127	436	7	165	108	135
十勝	12/15・16					965	1,088	121	497	167	737	11	243
合計	8回	1,067	341	6	181	2,639	1,088	59	477	199	737	11	234
前年同月成績	8回	967	546	19	302	2,770	1,322	220	613	116	816	66	377
前月合計成績	11回	1,222	321	1	182	2,657	1,283	37	448	202	693	35	261

## ホクレン乳牛市場開催日程

1月10日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)育成	2月2日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
1月12日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	2月8日(水)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)
1月13日(金)	ホクレン北海道家畜市場	(安平)	2月9日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
1月18日(水)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)	2月10日(金)	ホクレン北海道家畜市場	(安平)
1月19日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	2月16日(木)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)
1月20日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)	2月20日(月)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)育成
1月25日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)	2月21日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
1月30日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)育成	2月22日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)
			2月27日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)育成

## ホクレン家畜市場所在地及び担当支所(問合せ先)

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-66-8220
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛96番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

# 北海道乳牛産地情報

(令和5年1月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	1.5～2.5	横這い	札幌管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で99.5%、苫小牧管内月計で94.7%、累計で96.8%の実績となっております。 1月の初妊牛動向といたしまして、3月下旬から4月中旬分産が中心となっております。
	初妊牛	4.3～5.3	やや強含み	12月管内市場は、春分産も上場したため、強含みに推移いたしました。1月も春分産が主流になっていくため、庭先購買に関しましてはやや強含みに推移すると見込まれます。個別としては、雌雄選別腹は資源の少なさに反して、需要はかなり高いためF1腹並みの価格で取引されると見込んでおります。出品頭数は少ないですが、初妊牛・育成牛ともに良質な牛が多い地域ですので、相場が落ち着いているこの時期での導入をお勧めいたします。
	経産牛	2.0～3.0	横這い	根柢管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で92.8%、累計で97.6%、中標津管内月計で93.7%、累計で98.5%の実績となっております。 1月の初妊牛動向といたしまして、3月下旬から4月中旬分産が中心となっております。
釧路管内	育成牛(10-12月令)	2.0～3.0	やや強含み	雌雄選別腹の需要が高まっておりますが、資源の少なさから、F1腹との価格差が縮まってきています。春分産の需要が見込まれるため、相場はやや強含みに推移すると予想されます。道外のメガ、ギガファーム導入次第では、更に引き合いが強くなることも予想されます。経産牛は横這いで推移するものと見込まれます。
	初妊牛	4.6～5.6	やや強含み	帯広管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で94.8%、累計で100.0%の実績となっております。 1月の初妊牛動向といたしまして、3月下旬から4月中旬分産が中心となっております。
	経産牛	2.8～3.8	横這い	初妊牛においては、春分産で資源が少なくなってくる中、道内ギガファームの導入も重なってきているため、引き合いがかなり強くなるものと見込まれます。そのため庭先購買価格といたしましても、やや強含みに推移すると見込まれます。 個別としては、雌雄選別腹の資源が少なく、需要も高いためF1腹との価格差は縮まってきております。 経産牛に関しては、資源は豊富にあるため春分産でも、横這いで推移するものと予想されます。
帯広管内	育成牛(10-12月令)	2.0～3.0	横這い	道北管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、道北管内月計で95.1%、累計で99.4%、北見管内月計で92.8%、累計で98.5%の実績となっております。 1月の初妊牛動向といたしまして、3月下旬から4月中旬分産が中心となっております。
	初妊牛	4.8～5.8	やや強含み	1月の初妊牛動向といたしまして、3月下旬から4月中旬分産が中心となっております。各地域では、雌雄選別腹の減少により腹別での価格差もなくなっている状況です。また、今後の酪農普及次第では、相場が大きく変動する可能性がありますので、相場に注視していききたいと思っております。導入を予定している方はぜひ、お近くの弊会担当者へご相談ください。
	経産牛	2.3～3.3	横這い	道北管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、道北管内月計で95.1%、累計で99.4%、北見管内月計で92.8%、累計で98.5%の実績となっております。 1月の初妊牛動向といたしまして、3月下旬から4月中旬分産が中心となっております。
道北管内	育成牛(10-12月令)	1.5～2.5	横這い	道内の12月中旬までの生乳生産量前年比は94.4%、累計で99.1%の実績となっております。 1月の初妊牛動向といたしましては、春分産中心となりやや強含みをみ込んでおります。各地域では、雌雄選別腹の減少により腹別での価格差もなくなっている状況です。また、今後の酪農普及次第では、相場が大きく変動する可能性がありますので、相場に注視していききたいと思っております。導入を予定している方はぜひ、お近くの弊会担当者へご相談ください。
	初妊牛	4.0～5.0	横這い	道北管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、道北管内月計で95.1%、累計で99.4%、北見管内月計で92.8%、累計で98.5%の実績となっております。 1月の初妊牛動向といたしまして、3月下旬から4月中旬分産が中心となっております。
	経産牛	2.2～3.3	横這い	道北管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、道北管内月計で95.1%、累計で99.4%、北見管内月計で92.8%、累計で98.5%の実績となっております。 1月の初妊牛動向といたしまして、3月下旬から4月中旬分産が中心となっております。
道内総括	育成牛(10-12月令)	2.0～3.0	横這い	道内の12月中旬までの生乳生産量前年比は94.4%、累計で99.1%の実績となっております。 1月の初妊牛動向といたしましては、春分産中心となりやや強含みをみ込んでおります。各地域では、雌雄選別腹の減少により腹別での価格差もなくなっている状況です。また、今後の酪農普及次第では、相場が大きく変動する可能性がありますので、相場に注視していききたいと思っております。導入を予定している方はぜひ、お近くの弊会担当者へご相談ください。
	初妊牛	4.6～5.6	やや強含み	道内の12月中旬までの生乳生産量前年比は94.4%、累計で99.1%の実績となっております。 1月の初妊牛動向といたしましては、春分産中心となりやや強含みをみ込んでおります。各地域では、雌雄選別腹の減少により腹別での価格差もなくなっている状況です。また、今後の酪農普及次第では、相場が大きく変動する可能性がありますので、相場に注視していききたいと思っております。導入を予定している方はぜひ、お近くの弊会担当者へご相談ください。
	経産牛	2.3～3.3	横這い	道内の12月中旬までの生乳生産量前年比は94.4%、累計で99.1%の実績となっております。 1月の初妊牛動向といたしましては、春分産中心となりやや強含みをみ込んでおります。各地域では、雌雄選別腹の減少により腹別での価格差もなくなっている状況です。また、今後の酪農普及次第では、相場が大きく変動する可能性がありますので、相場に注視していききたいと思っております。導入を予定している方はぜひ、お近くの弊会担当者へご相談ください。

\*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選抜購買による予想相場です。

庭先選抜購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所  
☎011-241-0765

《各事務所電話番号》  
 釧路事務所 ☎(0154)52-1232  
 根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877  
 帯広事務所 ☎(0155)37-6051  
 道北事務所 ☎(01654)2-2368

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
 乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。  
 担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただいた上でより購買のお手伝いを致します。  
 また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

令和5年1月11日

## 輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所  
酪農生産研究会

### 北米コンテナ船情勢

北米西海岸南部(PSW)のロサンゼルス・ロングビーチ港の11月コンテナ取扱量は、インフレ由来の消費減少や港湾労使交渉によるストライキを懸念した荷主が貨物を東海岸へ移行したことにより、前年同月比で約20%減少しており、過去2年あった港湾の混雑は解消しています。

北米西海岸北部(PNW)のシアトル・タコマ港の11月コンテナ取扱量は、空コンテナ不足・本船遅延等に起因する船腹不足により、前年同月比で約24%減少しています。通常PNWの貨物はタコマからカナダのバンクーバー港を経由し日本へと寄港していますが、今冬のバンクーバーは例年以上の豪雪に見舞われており、ターミナルの荷役作業が遅れ、加えて中国をはじめとするアジアからの輸入貨物の減少や本船の抜港等が原因で空コンテナが不足しています。このため、カナダ航路については、各船会社において新規ブッキングを受け付けておらず、出荷スケジュールに遅延が生じ始めています。

苫小牧港や博多港向けなど、北米や豪州からの経由地となる韓国では11月末より港湾関係のトラック運転手によるストライキがおおよそ2週間行われていました。この影響でコンテナ搬出入量が平時に比べ60%程度まで落ち込んだため、日本—韓国間の輸送貨物も一時的な遅延が見られましたが、12月中旬に交渉がまとまり、状況は落ち着きを見せ始めています。

海上運賃は、コロナ禍で上昇が続いていましたが、北米航路は港湾の混雑解消とともに、船腹にも余裕が生じており、徐々に軟化しています。

### ビートパルプ

#### 【米国】

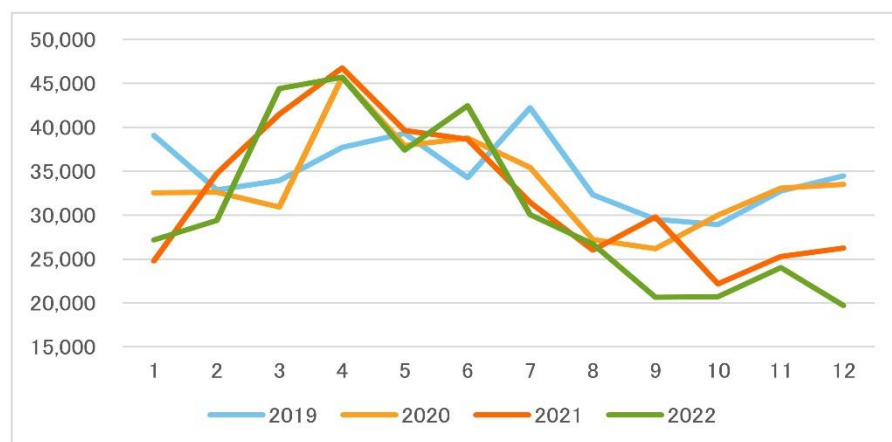
産地では各製糖工場で生産が続いています。22年—23年産ビートの生産量は作付面積減少の影響で21年—22年産より減少する見込みとなっています。

主産地であるミネソタ州クリスタル地区ではビートの原料の保存に適した気候のなかビートパルプが生産されていますが、多くの工場で従業員不足と厳冬による原料や製品輸送向けのトラックや鉄道の手配に苦慮しています。産地相場については引き続き、国内外から生産量を超える追加需要の引き合いが強いことから、堅調に推移しています。

## アルファルファ

農林水産省・植物防疫所から発表された輸入統計の速報値によると2022年における日本のアルファルファの年間輸入量は前年比95%のおよそ368,000トンとなりました。特に22年産の新穀の出荷が本格化した9月以降、月間輸入量は25,000トン以下となっており、歴史的に低い水準の輸入量となっています。

—昨年21年の年末は海運の混乱により輸入量が限られ供給が逼迫しましたが、昨年末は海運情勢が改善したにも関わらず、21年以上に輸入量が減少しています。低調な輸入量のなかでも日本においては逼迫感が見られなかったことから、歴史的な高値となった米国産アルファルファの需要低下が見られています。



(2019—2022年におけるアルファルファ月間輸入数量の推移)

出典：植物防疫所 植物検疫統計データ)

## ワシントン州

22年産は輸出向け主産地であるワシントン州で収穫期に不安定な天候が続き、低級品中心の発生となったことから、各輸出業者において、中国を中心に需要の旺盛な高級品を十分に買付できていない状況です。低級品についても、旱魃が回復したアイダホ州を中心に産地相場はピーク時に比べ軟化している一方、今年は降雪が多く厳冬のため、放牧草の代替で米国内の酪農家、肥育農家からの需要が戻ってきており、今後需要が強まる可能性があります。

## 米国産チモシー

主産地である、ワシントン州コロンビアベースン及び、エレンズバーグでは22年産の生産を終了しました。22年産1番刈は高級品中心の発生となり、中・低級品の発生は限定的となりました。産地相場が異常な高値となったなか、米ドル対比で通貨安となった日本、韓国からの需要は予想を上回る減少となっており、各輸出業者で工場の操業に苦慮している状況です。この影響で一部の輸出業者が値下げを行い、出荷を

促す動きが出ています。

## スーダングラス

産地では22年産の収穫は終了しました。急速な円安の進行等により、日本向けの出荷は鈍化傾向にあります。この状況が続けば、産地の各輸出業者は例年よりも多くの繰り越し在庫をもって23年産を迎える可能性があります。

一方で23年産に向けた種子の栽培は、主産地のひとつであるアリゾナ州ユマで昨年、早魃による取水制限があったため、生産量は例年に比べて減少しました。この減産が種子価格に影響を及ぼし、23年産スーダングラスの作付けに波及する可能性があります。種子相場には注視が必要です。

## クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

産地では22年産におけるクレイングラスの収穫は終了しました。主産地であるカルフォルニア州南部インペリアルバレーでは、現在一時的に夏場に見られた、内需からの猛烈な引き合いはないものの、産地では依然として価格が堅調なアルファルファの代替としてクレイングラスが取引されています。一方でスーダングラス同様輸出向けの荷動きの鈍化が見られています。

インペリアル灌漑局から発表された12月15日付の作付面積は昨年同期比114%となる、22,099エーカーとなっています。

## バミューダ

2022年のバミューダヘイは米国内の馬糧市場を中心に旺盛な需要がありました。

バミューダストローについては、夏季に収穫されたものは、他の禾本科系牧草と同様に需要が減退し、在庫を抱える輸出業者が見受けられます。現在産地では色目が悪く輸出向けの需要が少ない秋季から冬季に栽培されるウィンターバミューダストローの作業が本格化しています。

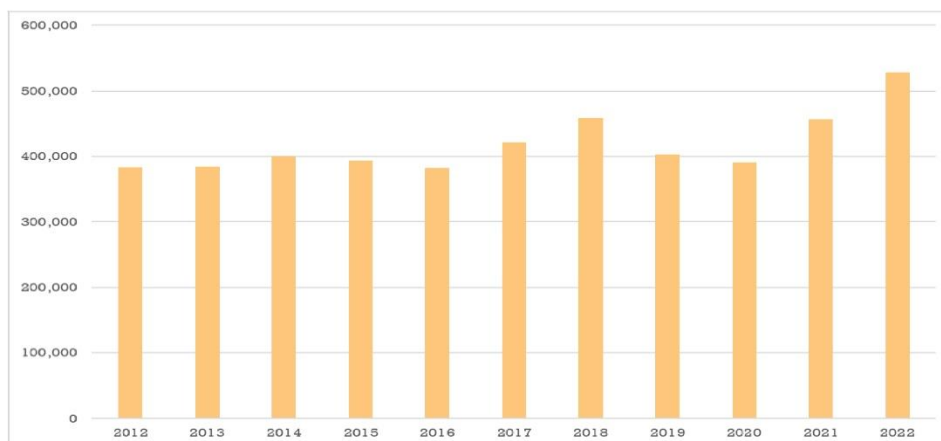
## カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州中部クレモナ地区、南部レスブリッジ地区ともに22年産の収穫作業は終了しており、1番刈の品質は中級品から上級品、2番刈の品質は低級品から中級品が中心の発生となっています。産地相場は内需及び海外からの引き合いが強いため、堅調に推移しています。

一方産地では12月下旬に寒波が襲い、豪雪の影響で国内の輸送が混乱し、工場での生産にも大きな遅れが発生しています。

## 豪州産オーツハイ

農林水産省・植物防疫所から発表された輸入統計の速報値によると2022年の豪州産オーツハイは、およそ529,000トン本邦に輸入されており、前年の2021年比で71,000トン程度増加しています。500,000トンの輸入量を超えた年は、過去10年なく、本会の調べによると2006年以来13年ぶりになります。今回の大幅な増加の背景には21年産北米産グラスハイが早魃の影響で発生量が少なかったことによる代替需要や、22年産北米産牧草が軒並み高値となったことで、割安感のある豪州産オーツハイの需要が高まったと考察されます。



(豪州産オーツハイ輸入数量の推移 出典：植物防疫所 植物検疫統計データ)

生産については22年産の収穫作業は刈残しがある東豪州を除き概ね終了しています。22年産の作況は地域によって大きく異なり、東豪州では断続的な降雨の影響で、重度の雨あたり品や、刈遅れ品の発生がほとんどで低級品中心の発生となっています。南豪州でも断続的な降雨の影響で雨あたりや刈遅れ品の発生が多く、上級品の発生は限定的です。一方で西豪州は比較的作況に恵まれたため、上級品中心に各グレードバランスよく発生しています。産地相場としては、作付面積減少やインフレを主要因に生産コストは上昇しており、21年産比で産地での買付価格は上昇していますが、直近、対米ドル比で豪州ドル安となっていることや、輸出業者によっては、旧穀を保有していることから、輸出向けの値上げ幅を吸収できており、相場は安定的に推移しています。

## 豪州産ウィートストロー

産地では収穫作業が本格化しています。オーツハイと同じく、雨の影響で収穫作業に遅れが生じており、例年より3週間程度遅い進捗となっています。東豪州中心に一部の地域で降雨被害を受けましたが、西豪州では良品が発生しています。

以上

○ 畜産農家の皆様へ ○

輸入飼料を給与した家畜の排せつ物に由来する  
堆肥を販売・譲渡・施用する際にはご留意ください！

海外で使用された農薬の成分(クロピラリド)が含まれた輸入飼料が家畜に  
給与された場合、**堆肥を通じて、クロピラリドに対する耐性が弱い園芸作物※1  
やマメ科牧草等の生育に障害を起こす可能性**があります。



※1 クロピラリドに対する耐性が弱い園芸作物については、2ページをご参照ください。

- ① クロピラリドは、広葉雑草(クローバーなど)を枯らす除草剤の成分で、我が国が粗飼料や穀類の多くを輸入している米国、豪州、カナダ等の各国で使用されています(我が国では申請がなく農薬登録されていません)。
- ② クロピラリドは、家畜の体内から速やかに排出され、家畜や人に対する毒性が低いため、飼料に含まれていても、**家畜や人の健康に影響を及ぼす心配はありません**。
- ③ クロピラリドに対する耐性は、作物や品種により大きく異なります。イネ科作物は耐性があるため、通常の施用量では稲、麦、とうもろこしやイネ科牧草の生産に障害を引き起こす心配はありません。

園芸作物等の生育障害の発生を防止するために

- ①牛や馬のふん尿由来の堆肥(排せつ物を含む)は提供先と次の情報を共有しましょう

**<クロピラリドに関する情報>**  
輸入飼料を給与した牛又は馬のふん尿に由来する堆肥には、**クロピラリドが含まれている可能性があるため、堆肥の施用に当たっては作物の種類や施用量に留意する必要がある**

**<堆肥の原料に関する情報>**  
○家畜の種類(牛、馬)  
○家畜の用途(乳用牛、肥育牛、肥育馬等)

**<給与飼料に関する情報>**  
「新たに輸入飼料を給与し始めた」、「輸入飼料の購入先を切り替えた」等

肥育牛に由来する堆肥は、他の畜種に比べてクロピラリド濃度が高い傾向が認められています。

飼料を変更すると、クロピラリドが含まれる可能性が変化し得ます。

- ②クロピラリド検査※2をした時で、提供先がポットや施設栽培でクロピラリドに対する耐性が弱い作物に施用する場合は、提供先に結果を伝達しましょう

※2 クロピラリド検査とは、クロピラリド耐性の弱い作物を用いた生物検定や残留農薬分析のことをいいます。生物検定の方法については3~4ページをご参照ください。



## 堆肥中のクロピラリド濃度に応じた施用可能な堆肥の量

クロピラリドに対する耐性は、作物や品種により大きく異なります。堆肥中の濃度により、施用可能な量が異なりますので、園芸農家等へは、下表について園芸作物を栽培する際の参考とするとともに、施設での栽培に用いる際は、投入量を低減する、クロピラリド検査により生育障害が発生しないか確認する、土壌とよく混ぜるといった点に気を付けるよう、指導しています。

- ◆ 各堆肥中クロピラリド濃度(不明の場合及び10から100  $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )における作物のクロピラリド耐性に応じた施用可能な堆肥量の例(t/10a)

	10 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	20 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	30 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	40 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	50 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	60 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	70 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	80 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	90 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	100 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	(参考) 不明 <sup>※1</sup>
極弱	2.9 (t/10a)	1.5 (t/10a)	1.0 (t/10a)	0.7 (t/10a)	0.6 (t/10a)	0.5 (t/10a)	0.4 (t/10a)	0.4 (t/10a)	0.3 (t/10a)	0.3 (t/10a)	0.48 (t/10a)
弱	3 <sup>※2</sup> (t/10a)	3 <sup>※2</sup> (t/10a)	3 <sup>※2</sup> (t/10a)	3 <sup>※2</sup> (t/10a)	2.9 (t/10a)	2.4 (t/10a)	2.1 (t/10a)	1.8 (t/10a)	1.6 (t/10a)	1.5 (t/10a)	2.45 (t/10a)
中以上	3 <sup>※2</sup> (t/10a)	3 <sup>※2</sup> (t/10a)	3 <sup>※2</sup> (t/10a)	3 <sup>※2</sup> (t/10a)	3 <sup>※2</sup> (t/10a)	3 <sup>※2</sup> (t/10a)	3 <sup>※2</sup> (t/10a)	3 <sup>※2</sup> (t/10a)	3 <sup>※2</sup> (t/10a)	3 <sup>※2</sup> (t/10a)	3 <sup>※2</sup> (t/10a)

※1 クロピラリド濃度不明の計算値は、全国堆肥中クロピラリド濃度分布を基に推定した施用量の目安です。クロピラリド耐性が極弱や弱の作物では、施用前に生物検定や残留分析を行い、生育障害が発生しないことを確認してから施用してください。

※2 計算上は3t/10aを上回りますが、都道府県の施肥基準の順守のため、ここでは3t/10aを上限にしています。

- ◆ ポットでの苗生産における各堆肥中クロピラリド濃度(10から100  $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )と作物のクロピラリド耐性に応じた堆肥の混合割合(%)

	10 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	20 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	30 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	40 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	50 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	60 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	70 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	80 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	90 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )	100 ( $\mu\text{g}/\text{kg-DW}$ )
極弱	4.5%	1.5%	1.0%	0.8%	0.6%	0.5%	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%
弱	13.5%	7.6%	5.1%	3.8%	3.1%	2.6%	2.2%	1.9%	1.7%	1.5%
中以上	52.4%	34.8%	24.1%	18.4%	14.8%	12.4%	10.7%	9.4%	8.4%	7.6%

※クロピラリドに対する耐性が弱い作物(ナス科、キク科、マメ科等)をポットにより育苗する場合は、生育障害が発生するリスクが高いため、家畜ふん堆肥の利用は控えてください。

(出典：農研機構「飼料及び堆肥に残留する除草剤(クロピラリド)の簡易判定法と被害軽減対策マニュアル(第3版)及び同解説集」)

## 生育障害が生じやすい作物(耐性の弱い作物)

クロピラリド耐性の弱い作物は、**ナス科**、**マメ科**、**キク科**で、次のようなものです。

- **特に弱いもの** (例) トマト類、えだまめ、さやえんどう、そらまめ、にんじん、キク、ヒマワリ、コスモス、アスター、スイートピー、ケイトウ
- **弱いもの** (例) なす、ピーマン、ししとう、さやいんげん、しゅんぎく、ふき、レタス類、セロリ、ひやくにちそう、ペチュニア、ガーベラ

※詳細は、<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/clopyralid/attach/pdf/clopyralid-1024-shougai.pdf>を参照してください。

### ○ マメ科牧草の生産に堆肥等を施用する場合

生物検定等によって**生育障害が出ないことについての確認**や、堆肥製造時の活性炭の混合等の**被害軽減対策を実施した上で施用**しましょう。

### ○ 戻し堆肥をする場合

クロピラリド濃度の上昇のリスクを避けるため、戻し堆肥だけで水分調整することはできるだけ避け、オガ粉やモミガラなど他の副資材を併用するようにしてください。

ご好評につき  
延長決定!

# 冬はみんなで あったか キャンペーン

2023年

1月4日(水)

2023年

1月31日(火)

生まれたての子牛の体脂肪は3~4%しかなく、15℃を下回ると体力を奪われていきます。寒冷ストレスは増体低下や疾病に繋がり、その後の発育に大きな影響を与えます。なにかと分娩が集中する冬季に生まれる子牛を全酪連は応援します。

もれなく  
もらえる

期間中"モーベスト"1着ご購入ごとに、全酪ラーメン1箱プレゼント!

※1月以降にお届けします。

「こりゃうまか〜!」



モーベスト

ユーザ様の声を聞き現在も改良を重ねています。首ベルトは面ファスナー、足ベルトはバックルを使用し、着脱も簡単です。サイズは和牛向けのSサイズ~離乳後も使えるLLサイズの4展開!(S/M/L/LL)

全酪博多ラーメン  
とんこつ味4食、とんこつ味噌4食  
スーパーでは手に入らないレア製品!  
ラーメン食べて温まりましょう!



ほかにも  
いろいろ

上記以外にも、子牛・寒冷対策製品等数多く取り揃えておりますので、お気軽にご相談ください。

Panasonic製  
コルツ/カーボンヒーター

大きさ各種取り扱いございます。価格には自信ありますので、まずはお問い合わせください。



初乳粉末製品  
グッドスタートプレミアム

免疫グロブリン  
70g/袋以上配合!  
サラッと溶けやすく  
作業性抜群!  
消化・吸収・機能  
性に優れた処方  
で良いスタートを!



腸内環境サポート製品  
ソブリスコア

食物繊維、乳酸菌、ビフィズス菌、枯草菌が腸内環境をサポート。さらに、機能性のある全卵粉末やミネラル類配合で子牛の健康を支えます。



機能性全卵粉末製品  
グロウパワー

全卵粉末、乳酸菌、ビフィズス菌に特化した製品です。1日7gで子牛の腸内環境をサポート!風邪に負けない子牛作りには腸から!



お問い合わせは、兵庫県酪農協・全酪連スタッフまたは下記まで☆\*。

兵庫県酪農農業協同組合 本所 TEL:078-976-5011 淡路事業所 TEL:0799-42-6888  
全酪連 近畿事務所・兵庫S P TEL:0794-62-5441 淡路S P TEL:0799-42-1330



Your Partner 全酪連